

## 富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

授業科目名	日本文化C1
担当教員	中河 和子 (NAKAGAWA, Kazuko)
開講学期曜限	前期 (春期)・木曜日 4 時限
対象	〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生 〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者
単位数	単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書 (成績記載) を発行します。
授業のねらい	留学生として、日本社会を出来るだけ分析的に観察する試み (情報の読み取り・整理など) を、いろいろなメディア media (インターネット、TV 番組、アニメ、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報など) を用いてする。日本社会を読み解くのに役立つ身の回りのリソース resource をまだ活用しきれていない留学生に、それを活用する手立てを与える。さらに、そこから得たものを日本語で情報発信する力を養成する。現代日本社会を観察する手立てとして、学生の興味もはかりながら、『日本の若者』『日本の技術－環境問題－』『ジェンダーについて』等を取り上げる。学期中に 6 回、日本人学生とテーマについて対話を行い、異文化理解とコミュニケーションのスキル skill をお互い高め合う。
達成目標	1 つのテーマをなるべく多角的に捉え、日本社会に対してすでに持っている知識や、自文化への固定的な見方を洗い直してみる。日本語の訓練としては、自身の述べたいことをまとめた談話として構成する力を養う。
授業計画 (授業の形式、 スケジュール等)	1 週目：オリエンテーション、本授業で扱う「文化」について * 取り上げるテーマ、順序は学生の興味などにより多少変動がある。 * 学期中に 3 回、日本人学生とテーマについて対話を行う。 2～3 週目：「人権と差別」 4～6 週目：「日本の若者」 7～8 週目：「サブカルチャー (アニメ、漫画など)」 9～11 週目：「日本の技術－環境問題など」 12～14 週目：「自文化をふりかえる」 15 週目：「まとめ」
授業時間外学修 (事前・事後学修)	常日頃、日本の社会問題に関する新聞記事や TV ニュースに関心を持ち、視聴するようにしてください。 授業で学んだことを、必ず復習してください。
キーワード	中上級日本語 現代日本事情 文化リテラシー
受講上の注意	
教科書・参考書等	使用しません。毎回プリント等を配布します。
成績評価の方法	授業への参加度:30%、レポート:30%、発表:40% (欠席が多い場合は評価対象外とします。) *日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。
関連科目	
備考	